

ブラジル福岡県人会

高階 矢富 強 ジュリアノ

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

僕は、ブラジル国から参りました高階矢富強ジュリアノと申します。4人兄弟の2番目です。ブラジルの南の方に位置している、パラナ州、ロンドリーナ市が出身であり、日系3世です。この町は、約54万人の住民がいます。イギリスに植民地化されたため、ロンドリーナと名付けられたそうです。なぜなら、“ロンドリーナ”の意味は、“ロンドンから来た”という意味です。でも、日本から移住してきた日系人がたくさんいるので、日本植民地化のようです。特に名物なのは、「バヘアード」と言う食べ物。粘土製の鍋で約20時間100℃の温度で炊き続ける事によって、肉がとろける感じで、何回あたたためても、味が変わらないです。それを、マンジオカの粉とバナナと一緒に食べるのがおすすめです。あと、日系人にとっての場所と言えば、中川トミ広場（Praça Tomi Nakagawa）です。この広場は、皇太子様によって開かれた、日本人のブラジル移住100周年記念の名誉に建てられました。僕の住んでいる町で、こんなにも近くで皇太子様を見られる事を本当に感動しました。中川さんは、移民船「笠戸丸」でブラジルに渡ったブラジル第1回移民の最後の生存者であり、ロンドリーナに住んでいました。

大学では、体育学部を卒業してから、身体運動並びにリハビリテーションの専門分野の勉強もして来ました。全部 UNOPAR 大学で資格をとりました。

僕の祖父母は、福岡県浮羽郡出身で、1925年に姉と両親の4人でブラジルに移住して参りました。船で約一ヶ月もかかる長い旅は、今では約25時間で着くので、僕にはその苦労は想像もできません。長い間ブラジルに住んでいても、日本の事や、福岡県の事も、生きていた間はちゃんと覚えていました。いつも色々な話を聞かせてくれました。それが福岡県移住者子弟留学生になりたいと思った最初の理由です。他にも色々な理由があります。例えば、日本の優れたリハビリテーションや高齢者の看護技術を学び、日系社会のみならず、一般ブラジル社会にも日本の進んだ技術で貢献したいと思います。

福岡県では、一年間大川市の国際医療福祉大学で、リハビリテーション、高齢者に対する運動や、沢山の勉強をさせて頂いています。その為に、中原先生が担当になってくれて、授業の他にも、学生の卒業研究グループとともに勉強する事になりました。学生達は、優しく何でも丁寧で、説明してくれ、すぐに仲良くなりました。先生方は、入学歓迎パーティーまでしてくれました。

福岡市にたどり着いてから、国際交流センターの入江さんと、永石さんが向かいに来てくれて安心しました。その後、一番嬉しかった事は、寮の後藤さんが心温かく「ようこそ、いらっしゃいませ」と、声をかけてくれたことです。新しい家族のようで、「お帰りなさい」

い」という気持ちが伝わってきました。それと、他の留学生とすぐ仲良くなって、大濠公園で花見が出来た事も嬉しかったです。その日は、良い天気で美味しい物も食べて、写真もみんなで一緒に写る事が出来て、良い思い出を作る事が出来ました。日本の乗り物は、凄いなと思いました。運転手は丁寧に案内してくれる事や、時刻表通りに来ることなど、お客様の安全を第一に考えているのを感じました。でも、電車やバスの乗り方は慣れるまで少し困りました。今は、大丈夫です。

初めてでは、有りませんが、久しぶりに竹の子堀りや、バーベキューも出来て皆で凄く盛り上がりました。一番日本的で初経験であったのは、温泉に行く事です。正直言うと、この初めての体験は、少し恥ずかしかったですけど、温泉から上がると気持ちが良いです。その後、家族会の内山さん御夫婦の家でホームステイをしました。これも、僕達だけでなく、内山さん達にも初めての経験であり、凄く親切に色々と、気を使っていた事を心から感謝します。明るく日は、内山さん達は、キリンビールの工場見学に連れて行ってくれました。とても楽しかったです！

授業の他に、大好きな剣道の練習が出来る所を探していた時に、立石オメガ君と友達になって、知り合いの校長先生の高校に紹介してくれて、この日本での生活で初練習する事が出来て、本当にオメガ君や、先生方に心から感謝しています。それと、5月末には、世界剣道選手権大会が東京の日本武道館で行われました。妹が参加したので、見に行きました。本当に凄かったです！妹の春美は、ブラジル代表として団体戦で参加し、50国以上の中で三位に入賞する事が出来ました。皆、大よろこびです！

このように、日本での生活はとても楽しいです！だから今年の一年間は、一日一日、精一杯勉強し、大学の事だけでなく、もっと日本の文化を知り、色々体験して、帰国してからも、もっと福岡県人会のためにも頑張っていきたいと思っています。

ブラジル福岡県人会

平田 さゆり カレアンドラ

九州産業大学経済学部

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

平田カレアンドラ小百合と申します。25歳です。ブラジル国のサンパウロ州カンピナス市から参りました。私は日系三世です。うちの家族は五人です。両親と兄が二人います。お父さんの名前は平田ドミコとしお、お母さんは平田 マリア、長男のお兄さんは 平田アレシャンドレとしお、次男は平田マルシオゆきおです。ブラジルのサンパウロ市は一番たくさん日系人が住んでいるところです。中でもリベルダデ区は日系人の集まりが多いところです。カンピナス市はサンパウロ州に位置しているため、同じく日系人の集まりが多いです。ブラジルの伝統料理は、バーベキュー、フェイジョアダ、タピオカ、カイピリーニャ、ガラナなどです。バーベキューは、いろいろな肉を焼きます。ピカニャはブラジルの有名な肉です。フェイジョアダは黒豆とたくさんの肉と水とたまねぎをつかった料理です。ガラナはブラジルのくだもので、ガラナソーダはエネルギードリンクです。カイピリーニャはカシャーサ、レモン、お砂糖と氷をつかったブラジルの飲み物です。タピオカはマンチオカの粉をつかって作る食べ物です。そのタピオカはさまざまな作り方があります。たとえば 好きなように辛く味付けしたり、甘く作ることもできます。

ブラジルでは サンカロス国立大学で経済を勉強して、卒業研究は 肉に対しての国際貿易についてでした。卒業後、水処理をする科学工場で働きました。家族の影響で県人会に入ったのがきっかけで、福岡県移住者子弟留学生になりたいと思いました。

福岡に着いてから日本文化を知ることができて嬉しく思っています。いろいろな方々と接することができて光栄です。福岡のまちにある公園、ショッピング、お店、バー、レストランなどに感動しております。私が今まで行ったおみせは、必ずなにか一つ感動することがあります。他の留学生たちと大濠公園で花見ができて、いい思い出を作ることができました。ヤフオクドームでホークスの試合を見ることもできました。すごくおもしろかったです。ブラジルで野球はあまり人気ではありません。でも福岡県で いちばん人気のスポーツです。日本では野球が人気ですが、ブラジルではサッカーが有名です。寮のちかくにきれいな海があり、たくさんの方が散歩しています。海が近いので嬉しいです。ゴールド

ンウイークは、博多どんたく祭りと海の中道へ行きました。

福岡県では、九州産業大学で日本の経済の特徴、輸入、輸出、などがどのように運営されているのか学んでいます。私の担当の先生である広瀬先生に毎週ポルトガル語を教えています。広瀬先生はとても優しく、親切にいろいろ教えたり学ばせてくれます。

他の留学生とすごく仲良くなって、遊びまわったり、寮の中でも卓球をしたり、一緒に料理を作ったり、ビデオを見て楽しんでいます。私の誕生日には、みんなから五回のサプライズパーティーをしてもらいました。ほんとうに嬉しくて、こんなにみんなから祝ってもらえるとおもってもいなかったです。

この一年間を通して 日本語の勉強をして、日本文化も学び、福岡県の大学で学んだこととブラジルの大学で学んだことを照らし合わせて違いを分析してみたいです。

この一年間で様々なことを覚えるために必死に勉強してブラジルで貢献したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

パラグアイ福岡県人会

北川 瞳

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

私はパラグアイ国・イタプア県・ラパス市出身の24歳、日系3世です。パラグアイは南米の中央に位置し、面積は日本より少し大きいですが、人口は日本の1/20です。豊かな自然に恵まれていて、農業や酪農が盛んな国です。今年日本人移住79周年を迎えます。

私の家族は福岡県行橋市出身の祖母、両親、そして高校生と大学生の弟が2人、6人家族です。私は2年前に理学療法学科を卒業し、発達障害児に対する刺激療法の専門分野を学び、小児リハビリテーションセンターや病院で働きました。その後、ルーツである福岡のことを知りたいという気持ちと、大学在学中に1ヶ月間に渡る日本での研修を経験し、卒業後再び日本への留学を決意するきっかけとなりました。

4月3日に福岡へ到着し、満開の桜が咲いた美しい日本が私を歓迎してくれました。福岡県国際交流センターと福岡県海外移住家族会の皆様には温かく親切に迎えてもらい、そのお蔭で新しい環境にもすぐなじめました。

私にとって寮での共同生活は、初めての経験です。7ヶ国からの10人、皆性格が違って、今まで経験してきたことやこれからの目標も違いますが、心が広く助け合う気持ちは共通しているのでとても心強いです。食事したり、買い物したり、遊んだり、又お互いの言葉や文化の違いなどを話し合ったり、とても楽しい毎日を過ごしています。

私が福岡へ来て困ったことは電車に乗ることです。母国では線路がひかれていないため電車がなくて、乗り継ぎなどに慣れるまで少し時間がかかりました。又、どれだけ混んでいても順番を守って一列に並ぶことや、小さな子供達が一人で歩いてや電車などで通学していることに驚きました。

家族会の方々のお蔭で様々な体験をさせていただいています。タケノコ掘り、蛍見学、田植え、温泉、ホームステイ、BBQなど楽しい企画を立ててくださり、感謝しています。

又、太宰府天満宮、博多どんたく祭り、キャナルシティ、福岡タワー、ヤフオクドーム、大濠公園、マリノワールドなど福岡で人気の場所へ行くこともできました。緑に囲まれた自然豊かな場所が沢山あることや、親切な人が多いことで、とても住みやすい環境だと感じました。

こちらでは、国際医療福祉大学で勉強をさせて頂いています。講義と実習のつながりで充実した授業を受けています。友達も沢山でき、授業の説明をしてくれたり、皆さんの住んでる街の特徴や福岡のことを沢山話してくれます。又、素晴らしい先生方

の指導を受け、親切に食事会などにも招待して頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ています。

私の一年間の目標は、家族会の方々や友達との交流を通じて日本の伝統や文化を学び体験し、又大学の勉強では、新たな知識や技術を身につけることです。

福岡県に来て二ヶ月半しか経っていませんが、様々な経験ができ、多くの事を学べて、日々新しい発見があり、素晴らしいものばかりです。これからも皆さんと過ごす時間を大切に、この素晴らしい思い出や経験が増やせるよう頑張っていきたいです。今後も宜しくお願い致します。

在ボリビア福岡県人会

緒方 翔 マルセロ

国立開発研究法人 農業・食品産業技術総合研究機構

九州沖縄農業研究センター

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

初めまして緒方翔と申します。23歳で日系3世です。私はボリビア国サンタクルス県サンファン市からまいりました。私が現在住んでいる日本人移住地「サンファン市」は、第二都市であるサンタクルスから車で約2～3時間です。サンファン日本人移住地での計画的集団移住は1955年7月、14家族87名に始まり1992年2月の第53次までの間に（家族、単身者含め）計1685名の入植者がいます。これらの入植移住者を出身県別に見ると、長崎約46%、福岡9%、北海道、高知、熊本、東京の順です。このサンファン移住計画では両政府の契約により、移住者には一家族50ヘクタールの土地が与えられましたが、その土地の開拓には過酷な作業が必要であったと聞いています。その一世の方々の開拓の成果もあって、今となっては一家族の平均土地面積は500ヘクタールにまで広がっています。移住地の産業は、稲作、大豆、卵、マカダミアと畜産です。私は5人家族です。両親、弟と妹がいます。弟は今ブラジルの大学で樹医の勉強をしていて、妹の方はシェフになるための勉強をしています。私は、ボリビで農学部を卒業して、その後お父さんと稲作の仕事をしています。

福岡では、九州沖縄農業研究センターで日本のイネの栽培方法をまなんでいます。研究センターでは、4人の研究者にお世話になっています。皆さんには、親切にしてもらっているので、毎日が楽しいです。ただ毎日の通学がきついです。研究所が筑後市にあるので、毎日朝6時に起きて通学しています。

寮では、留学仲間と色々な所に行ったり、皆で料理したり、母国の文化をしゃべったりしています。毎日が楽しいです。

福岡に着いてもう3ヶ月が経ちました。色々困ったことがあります。例えば電車で1分でも遅れたら置いていかれることや、日本の食べ物が高いことや、あとは、毎日の通学でたくさん歩く事です。けれど楽しいこともありました。家族会の皆さんに色いろなイベントに誘っていただき、バーベキューで日本伝統の遊びをやりました。

私が、この留学に応募したきっかけは、福岡の方たちや他国の留学生たちとの交流や、日本でイネ栽培に使われている技術を学びたいと思ったからです。また私のルーツである

福岡県を知るためにこの福岡県移住者子弟留学生としての留学を希望しました。福岡での目標は、

- 福岡とボリビア福岡県人会の交流を深めることです。
- 今年の、私の目標は、日本で行われる田植えや管理の技術について100%学び、帰国後は、それを生かしたいです。
- 福岡でいい思い出を作っていくことです。

この一年間は、勉強だけではなく日本文化を学んだり、福岡県の皆さまと交流を持っていきたいと思えます。

ペルー福岡クラブ

グティエレス タナベ アレックス

九州造形短期大学芸術造形学科

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

私はペルーのリマという市に生まれて、そこに今までずっと家族と住んでいました。家族は三人だけですが、とても暖かい家族です。母は子供の頃から一人で兄と私の面倒を見てくれました。気が強いですが、すごく優しい人です。兄は私と同じ県費留学生で、僕が日本に行く前には県費留学生の頃のいろいろな話をしてくれました。祖母もいます。綾子です。祖母は日本人で、日本料理を作ったり、日本語を教えたり、日本のことたくさん教えてくれたおかげで僕は日本が好きになりました。2年前に亡くなりましたが、私にとって今でも大事な存在です。

ペルーで Universidad Peruana de Ciencias Aplicadas (略は UPC) 大学でソフトウェアエンジニアリングを勉強しました。卒業してから、ソフトウェアエンジニアとして働いて、スマートホンのアプリを開発しました。趣味は写真を撮ることです。ずっと前から芸術に興味があって、一年前にインターネットでいろいろなことを調べて、一眼レフを買って、自分自身で写真の勉強を始めました。現在、いつも、どこでも、自分のカメラを持っています。この趣味をキャリアにしたいと思い、福岡県移住者子弟留学生として福岡県に来ました。

日本のたくさんを知っていましたが、それでも福岡に来てから様々なことに驚きました。私にとって、ペルーと比べて福岡の方がとても安全な場所です。ペルーで高いカメラを持ち歩くのはすごく危なくて、すぐ狙われますから、ここに来てからたくさん写真を撮れます。そして、日本ではみんなは時間を守るから、すごく助かります。デパートへ買い物に行く時に「お客様は神様」というような考え方がよく伝わってきます。店やレストランやデパートなどのスタッフさんはいつも優しくしてくれます。ですが、困ったこともあります。電車やバスなどに乗ることはちょっと難しく、よく間違いました。日本に来てからすぐに乗り方を覚えさせられましたが、やっぱりなれるまでに時間がかかりました。特に、一番安くて早いルートを知るのはちょっと大変でした。でも日本に来ることができてすごく嬉しいです。日本に来る前は、大学で時間を過ごすより福岡で観光するつもりでしたが、間違っていました。今現在は、大学で過ごす時間が私にとって一番楽しい時間です。最初は誰も知らない人ばかりで、日本人の同級生に声をかけるのはちょっと怖くて緊張しましたが、今はその日本人の同級生は私にとって家族みたいな存在になりました。担当者まで優しくしてくれて、時々研究生に弁当を作ってくれます。授業のペース

も、問題なくついていけるから、大丈夫です。毎日新しいことを学んで、とても嬉しいです。

この一年間で三つの目標があります。最初は福岡を写真で世界中に見せることです。いろいろなイベント会場へ行って、いろいろな所を撮影しています。二つ目の目標は、ポートレート写真を学ぶことです。私は人物の写真が一番好きなので、毎週モデルを探して、撮影しています。最後は日本語を勉強することです。今たくさん日本人の友達ができましたが、まだそんなに話せないなので、ちょっと悔しいです。今年の12月に日本語能力試験2級を受けたいです。

この一年間でいろいろなこと経験したくて、たくさんのことを学びたいです。楽しみにしています。

メキシコ福岡県人会

エルナンデス 吉開 順一

九州造形短期大学芸術造形学科

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

私の名前はエルナンデス吉開順一です。1988年07月17日にメキシコのメキシコシティでうまれました。僕の家族は4人です。お父さんの名前はエルナンデス オルテガ ラウルです。彼はメキシコ人です。お母さんの名前は吉開アマドル春子です。彼女は日系二世です。あとお兄さんの名前はエルナンデス吉開義道です。僕のおじいさんは福岡の久留米で生まれ、20歳の時にメキシコにいきました。メキシコでキャンデーファブリックというお菓子の会社を作りました。

私の国の面白いことは、マヤやアステカなどの大遺跡をはじめ、瀟洒なコロニアル都市など歴史的な見どころがいっぱいある点です。土着の先住民文化とスペイン文化が複雑にからみあっているので、各地のお祭りや市場では独自の民族色が楽しめます。また、近年日本人旅行者に注目されているのが、カンクンやロスカボスなどのビーチリゾートです。純白のビーチと青い海が広がるエリアに高級ホテルが立ち並び、アクティビティやグルメも思う存分に大満喫できます。

メキシコの国旗は、緑・白・赤の三色旗です。緑は「独立」、白は「カトリック」、赤は「メキシコ人とスペイン人の統一」を表しています。人口は1億2230万人です。

メキシコでは、自分の会社ではたらいていました。二つあります。Yoshikai Management S.A. de C.V. (吉開管理) という会社の経営コンサルタントの会社と、Over All Mx (オヴェル・アール) というデザイン会社です。今年は九州造形短期大学で写真・映像・アニメも勉強します。絵を描くことやモノを作ることが好きだったので、好きなことに一生懸命に取り組める環境が整っている九州造形短期大学への入学を決意しました。日本人の友だちもでき、交流の場が広がり、自分自身、とても社会的になったと感じます。卒業後は、内定したデザイン会社で早く一人前になり、会社や社会に貢献できる存在になりたいと思います。

私は今現在勉強しているものを出来るだけたくさん吸収し、日本のデザインとアートとの違いなどを学びたいです。そして日本語や日本文化を多くを学びたいと思います。私が経験しているこの素晴らしい最高の経験を持ち帰りたいです。

メキシコ福岡県人会

寺本 英樹

福岡大学商学部

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

みなさん初めまして 寺本英樹と申します。メキシコCITYシティから参りました。25歳です。私は日系3世です。福岡大学でマーケティングを勉強させていただいています。

私の家族のことを少しはなします。父方はみんな和歌山県出身です。母方が福岡県出身です。1935年ぐらい戦争が始まる前にメキシコにいきました。私のおじいさんはメキシコ福岡県人会の会長でした。両親は二人とも日系2世です。父の名前は寺本アルベルト、母の名前は飯田美智子。26年前結婚しまして、3人の子供が出来ました。私は長男で昨年大学でマーケティングを勉強し卒業しました。妹は2番目で、歯医者になるための勉強をしています。名前は寺本アイリです。そして弟はダイニングシェフの勉強をしています。名前は寺本トシオです。家族みんなメキシコ県人会に入っています。

メキシコ福岡県人会では、毎年たくさんイベントをやっています。新年会や、子供会、やゆ会、クリスマス会、父母の会、青年の会もしています。メキシコの県会会はだいたい80人がいます。人数はあまり多くないけど毎年がんばっています。私はメキシコ福岡県人会の青年代表として、今年目標は2016年に行なわれるメキシコの世界大会で青年の人数を多く集めたいです。だいたい二十人くらいを集めたいです。

2002年、日本に初めて来た時の私の楽しみはひいおばあちゃんを会うことでした。その時一ヶ月間、宮の陣小学校で6年生の生徒たちと一緒に勉強をさせていただきました。たくさん友達が出来て、とてもいい思い出が出来ました。家族会には、私のおじいさんの弟、飯田建夫さんがいます。今年飯田さんは、両筑地域家族会の会長さんになりました。本当に誇りに思います。

この2カ月でもっとも驚いたことは日本のサービスです。ほかの国と比べたら日本人は初めから最後まで何でもやり通す人が多いです。困ることはあまりありませんが、日本の価格はメキシコより

高いのだと思います。そして、福岡市は本当にきれいなところです。色々な場所に行きました。海の中道や、ヤフオクドーム、天神、博多、西新、福岡の人はとっても優しいし、親切です。でも福岡の大好きな物は食べ物です。毎週お金を節約して、週末に県費留学生たちと焼肉、おすし、ラーメンに行くのが楽しみです。

今年の私の目標はたくさん日本語の勉強をして、福岡大学で受けさせてもらっている勉強をメキシコで再度学ぶことです。そして2016年メキシコで行なわれる福岡県人会世界大会にたくさんの青年が参加することが私の目的です。

アルゼンチン福岡県人会

江口 イネス マリア

九州大学大学院芸術学府

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

私は江口イネスマリアと申します。27歳で工業デザイナーです。アルゼンチンのサンタフェ州のラファエラ市から来ました。ラファエラ市の人口は10万人で、小さく、とてもきれいな町です。そしてラファエラ市では、唯一の日本人家族ですのでラファエラ人は私たちのことを知っています。みんなはおじいちゃんとおばあちゃんのことを覚えています。

私の町での生活は穏やかです。毎日働いたり日本語を勉強します。三つの仕事をしています。ITEC 工業大学の工業デザイン学部で図額学科を担当して教えています。Jauss 文化センターで折り紙を教えています。そして私のデザインスタジオで色々なオリジナルデザインを作っています。仕事をしながら毎週ダンスもしています。三つダンススクールがあり、3歳からダンスをしています。本当にダンスが好きです。

私の家族は四人です。両親とお兄さんがいます。お父さんは益満です。彼は60年前両親と福岡からアルゼンチンへ行きました。おじいさんとおばあさんはクリーニング屋をしていました。今はおばさんがしています。父は化学工学エンジニアです。お母さんはクリスティーナです。彼女は生化学者です。お兄さんはマウリシオです。彼も工業デザイナーです。会社で課長をしています。二年前 Leticia と結婚しました。

日本のデザインはすごく面白く革新的です。九州大学でデザインストラテジーの勉強を通じて日本の伝統工芸を学び、日用品のエコデザインの研究をしたいこと、又こちらの親戚に会い、お父さんが生まれ育った福岡を知りたくて私は福岡で勉強をすることを決めました。

福岡にきて驚いたことは、町を歩くとよくバックグラウンドミュージックが聞こえます。そして日本人はあまり話しません。そして昔の物と現在の物と両方が残っていて、調和がたもたれていることにおどろきました。

ルーツである姪浜に行き日本の親戚に会えたことがうれしかったです。お父さんと福岡で散歩しました。日本語の理解ができないので、人との交流が難しいです。アルゼンチンの人とくらべると日本人はシャイです。

今年の目標は日本語を上手達させることです。日本の伝統工芸を学び、文化を理解し私のオリジナルデザインを作りたいです。日本はとてもきれいだし、私は旅行するのが好きなので、沢山の所に行きたいです。たとえば、大阪、京都、東京や沖縄などです。

南加福岡県人会

松井 エリック 武士

福岡工業大学短期大学ビジネス情報学科

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

私は福岡に来る前に家族と一緒にラ・パルマ、カリフォルニアに住んでいました。ラパルマはカリフォルニア州のオレンジ郡にある都市です。私の叔父がこの県費留学生制度について教えてくれました。私は日本に留学することに問題はありませんでした。私は日本文化に非常に興味を持っていますし、私の趣味の多くはアニメやゲームなど、日本のものを多く含みます。私は会社で働いていませんでした。私は自分自身でビジネスをしていました。私は支払うべき住宅ローンを持っていなかったし、まだ妻や子供もいません。そのため、私は日本に行くことにしました。

今回が福岡に行くのは初めてではありませんでした。私は福岡に家族がいるので、私は福岡にいきました。数年前も、私はいとこの結婚式のために来ました。他は、休暇のために来ました。そして、私はまた私の祖母の命日も福岡に来ています。私は何度も、これらの旅行の際に、福岡の家族と交流していますが、今回の留学で、私は彼らとさらに仲良くなることを願っています。

福岡、それと日本について、多くの好きなものがあります。些細なことに思われるかもしれませんが、多くの日本でしか入手不可能なものがあることに満足しています。アメリカでは、日本のすべてのもの、例えば食品、マンガやアニメは容易に入手できないため、高価です。

慣れるまでに時間のかかることの一つは、福岡の天気です。今はもう慣れました。カリフォルニア州では、ほとんど雨が降りません。実際には、カリフォルニア州は非常に悪い干ばつの途中です。天気情報によると、福岡は一年で非常に雨が降りそうです。また、非常に湿度が高いです。湿度と雨のために、慣れるまでに時間がかかりますが、温度の面では、カリフォルニア州と大きな違いはありません。

学校は楽しいです。すべての教師、スタッフ、および学生を含む誰もが、本当にいい人達です。問題は、コミュニケーションです。私は人々にはとても満足していますが、まだ多くの友人はいません。私はまだ非常に多くの日本語を知らないのと彼らは英語を話さないからです。だから我々はお互いに話すことができません。私の日本語のボキャブラリーが今は多くありませんが、少しずつ改善されています。私は頑張っていますが、私の進歩は非常に遅いです。

私はもっと日本語を勉強したいです。そして私は日本で友達を作りたいです。そして、福岡と日本を体験し楽しみたいです。うまくいけば、この留学プログラムを通じて体験したことを、私は **YouTube** チャンネルにアップロードしたいと思います。**YouTube** を使用することで、私の経験を多くの人と共有したいと思います。私は内向的ですので、会話スキルを向上したいと思います。そして最後に、私は日本の文化遺産と私の家族のルーツについて学びたいと思います。これは私にとって非常に重要なことです。私は福岡に家族がいます。寮でも新しい家族・県費留学生がいます。私は彼らと多くの時間を過ごしたいと思っています。

南加福岡県人会

プリビ エミリー ジョン

九州大学大学院人間環境学府

自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。

私は6歳のときに福岡からアメリカに引っ越しし、いつも日本に住みたいと思っていました。いつも福岡は自分のホームだと心で思っていました。6歳までお父さん、お母さん、とおばあちゃんと一緒に住んでました。お母さんの妹と弟もいつも来てくれて、遊んでくれて、私たち6人は一番幸せな家族でした。おばあちゃんとおばさんとおじさんは本当に大好きでした。彼達と離れるのはとても悲しかったです。それと、私はあまり英語をしゃべれませんでした。最初の数年間はずっと日本にもどりたかったです。けれど、英語をだんだん習ううちに、アメリカもすぐに好きになりました。でも、まだ福岡は心のなかでは自分のホームだという気持ちは変わらず、大学在学中も卒業後も日本に住むチャンスを探していました。

2年間ハワイの不動産開発会社で働いて、仕事は面白かったけど、大変でした。また学校に戻って、授業に行って、学生のままでした。福岡県移住者子弟留学生になる機会を見つけたときに、これは私がまさに必要でずっと探していた事だと実感しました。小さいころから日本に住みたくて、学校に戻って勉強をしたくて、たくさん新しい人たちを会って、もっと友達を作りたいと思っていたので、これは信じられないチャンスでした。

初めて家族と離れて、暮らすことをとても心配していました。みんなにさよならを言ったときに泣いてましたが、飛行機では県費留学生のエリック君と一緒にだったので隣に座って、とても楽しくてすぐ笑顔が出ました。日本についたとき、メキシコからの県費留学生の順一君とひでき君と会いました。みんな優しく、すぐに今までの心配と緊張はなくなりました。福岡空港につくと、国際交流センターの方がむかえに来てくれました。

寮でもセンターの方と寮のお父さんとお母さんが色々じゅんぴをして、あたたかくむかえてくれました。自分の家に帰って来たような感じがして、うれしかったです。他の県費留学生とすぐに仲良くなりました。寮ではスペイン語やポルトガル語や英語がとびかっています。この二か月でたくさんスペイン語やポルトガル語を県費留学生から習いました。みんなはとても優しく、すぐに仲良くなって、もうたくさん楽しい思い出があります。みんなと祭りへ行ったり、天神や博多でショッピングをしたり、出かけてラーメンやとんかつ食べたり、寮でみんなにご飯を作ったり、スイーツを食べたり、たくさんのお話をしました。パラグアイ人、アルゼンチン人、とペルー人は会ったことありませんでしたので、みんなの国のことを習うのはとても楽しいです。アメリカも日本もみんなの母国はユニークで、違うことがたくさんありますので、とても面白いと思います。

この一年では九州大学で都市計画を勉強します。先生はプラサンナディビガルピティヤ先生です。先生はとても優しく、私のリサーチを手つだってくれています。私のリサーチプランは、ビジネスやリサーチパークで、日本の人口減少問題が解決できると考えています。とても難しく時々何時間もリサーチや勉強をしても、自分のプランや考えたことが予想とは全く反対の方向に動きます。よく不満に感じますが勉強は大好きなので、一年間でいいプランを考えることができますと思います。他の学生たちはとても優しく、賢いです。クラスと一緒に糸島に行って九州大学の新しいキャンパスを見に行くと、キャンパスの面白いことを習いました。

一番大好きな思い出は家族会の方と一緒に過ごしたイベントです。本当にみんなは大きな家族みたいです。タケノコ掘りの日には初めてタケノコを掘りました。たくさんすしとバーベキューを食べて、初めてハツを食べました！ホームステイも初めてでした。一番楽しい経験でした！中垣さん御夫婦はとてもきれいなお家に県費留学生のイネスちゃんと私を泊まらせてくれました。お家、町と文化などたくさん面白いことを習いました。たくさん美味しいご飯も食べさせてくれました。全部ご飯は大好きでしたが、一番好きなのは朝ごはんでした。すごく美味しい朝ごはんを用意してくれました。私はいつもオートミールやシリアルを朝に食べますので、初めて日本の朝ごはん食べてとてもうれしかったです。野菜とフルーツたっぷりなごはんを食べさせてもらい、とても元気いっぱいになりました。みんなと一緒にバラ祭りに行きました。あんなにたくさん種類のバラは見たことありませんでした。とても美しいところでした。青いバラと紫のバラを初めて見ました。本物とは思いませんでした。

家族会の方と2週間前にバーベキューしたときに、いろいろなゲーム大会をしました。フラーフープとタケコプターはすごく楽しかったけど一番楽しかったのはスイカ割りでした。子供の時にテレビでスイカ割りを何回も見たことがあったので、いつもしたいなと思っていました。私の一番大好きな果物を割って、食べて、とても美味しかったです！この2か月はたくさんいろいろな経験をして、毎日とても嬉しくて笑顔いっぱいです。福岡県人会、家族会、国際交流センターの皆様、私にこの素晴らしい経験を与えてくれて、どうもありがとうございます！